

令和2年度 北海道教育大学函館校国際地域学科  
地域協働専攻 国際協働グループ

## 編入学入試 小論文問題

### 注意事項

- 1 試験開始の合図があるまでは、この問題冊子は開かないこと。
- 2 この問題冊子は、白紙1枚と問題本文2ページ、解答用紙は2枚、下書き用紙は2枚あります。
- 3 解答は解答用紙に横書きとし、句読点および段落の空白も1文字とし、指定された字数内でまとめること。ただし、題・氏名は記入しないこと。
- 4 受験番号は、解答用紙の指定欄に記入すること。
- 5 解答用紙2枚を提出し、問題冊子・下書き用紙は、試験終了後持ち帰ること。なお、いかなる理由があっても解答用紙以外は受理しません。
- 6 試験中に、問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等により交換を必要とする場合は、手を挙げて監督者に知らせること。



## 【問題】

次の文は、筑紫哲也の「多事争論」傑作選のうち2回分の文章である。これを読んで、後の問いに答えなさい。(合計100点)

### 「世界が変わった日」(2001年9月17日)

9月11日、イスラム過激派アルカイダによる同時多発テロが起きた。米国の航空機4機がハイジャックされ、うち3機はニューヨークの世界貿易センタービル、ワシントン郊外の国防総省に突入。貿易センタービルは倒壊した。

今回起きたことを「パールハーバーの再来だ」としきりに言われるのは日本人として愉快ではありませんが、60年前のあの日が世界を大きく変えたのは歴史の事実です。同じように、この9月11日以降、世界が大きく変わるだろうと思います。問題は、それではどう変わるかです。

21世紀が始まるということで、国連が今年を「文明対話の年」としたことを覚えている人も少ないと思います。国際関係での寛容の重要性と対話の役割が、平和への脅威を取り除き、文明間の相互作用を強めると決議したわけですが、なぜ「対話の年」に定めようとしたかについては背景があります。

21世紀がどういう世紀になるかという議論の中で、「文明の衝突」ということがクローズアップされました。アメリカのハンチントンという学者が言い出したのですが、このまま行ってしまうとキリスト教文明とイスラム文明、それに中国を中心とするアジア文明が衝突しあう。そうあってはならないということが出てきたわけです。

ところが現実は一見して文明の衝突かもしれないという形に動いている。これは単純すぎる議論でありますけれども、しかしその考え方に縛られてアメリカもイスラム世界もそれを自分たちで現実にしてしまうという恐れは多分にあります。

イスラム文化圏であろうと、キリスト教文化圏であろうと、私たちのアジア文化圏であろうと、テロリズムというのは世界中にとって大きな脅威です。

問題はこれとどう戦うのか。本当にそれをなくせるのか。そのことをじっくり考えなきゃいけない時に来たと思います。明日からもこの問題を続けて取り上げていきます。

### 「何が変わったか」(2001年10月11日)

テロの後、米国は報復のためアフガニスタン空爆を準備する一方、空港での検問を強化するなど強権的な治安対策に乗り出し、ヨーロッパや日本も追随した。

「世界は昨日とは全く違ってしまった」と言われた日から1ヵ月がたちました。それでは何が変わったか。いちばん大きいのは世界の至るところで人々が不安な心理に置かれていることだと思います。

飛行機が落ちてても、どんな事故が起きてても、テロリストとの関連をすぐ想像してしまう。テロリストは人の心に恐怖を植えつける、不安を植えつけるということで言えば、彼らは今、着々と勝ち続けております。

その安全を守るための経済的なコストを含めて、いろいろな負担を世界中が負っている。そんななかで市民的自由すら制限を加えるということが起きているわけです。

しかし、なかでも大きな打撃を受けているのはグローバリゼーションというものだろうと思います。今までのようなやり方のグローバル化が、豊かな人、豊かな国と、貧しい国、貧しい人々を極端に分けていくような形で進んでいけば、こういう問題が起きかねないということを、それは教えています。同時に人、物、金、情報が自由に行きかうグローバリゼーションをテロリストたちが悪用したという意味でも打撃を受けております。

それではどうしたらいいのか。軍事的な手段だけでテロリストを除けないことは、これはもう愚か者でない限りははっきりわかっているわけであります。そういうテロリストを支え、それを支持するような状況や社会をどうやって変えていくか。それが、本当の意味で世界を変えるチャレンジだろうと思われまます。

(『週刊朝日 MOOK 筑紫哲也——永遠の好奇心——』(朝日新聞出版、2009)より引用)

問1 上記の2つの文章を、それぞれ200字以内に要約しなさい。(配点40(20×2)点)

問2 上記の文章にある「文明対話」について、現在の世界情勢における具体的な事例を挙げて、あなたの考えを800字以内で記しなさい。(配点60点)